

地域懇談会実施報告書

自治会名 不二塚町・東中原町

開催日 10月7日(日)

時間 13:30 ~ 15:00

開催場所 不二塚町公民館

参加人数 34人

懇談内容 別添 議事録

質問等後日回答を要するもの
消火栓の設置について

対応



行政側参加者氏名

庶務課長 酒井 富雄

庶務課秘書担当 西山 賢治

庶務課行政管理担当 飯島 秀美

記録者氏名 飯島 秀美

不二塚町・東中原町地域懇談会会議録

10月7日 13:30～ 不二塚町公民館

1. 開会 不二塚町副自治会長

2. 開会のあいさつ

不二塚町自治会長

東中原町自治会長

3. 市長あいさつ

(1) 地域づくり事業について

大町市第4次総合計画（計画期間10年間）の根本は、「市民参加」と「協働」。協働によるまちづくりの例として、

- ・ 大黒町共有林イベント「がったまつり」
- ・ 高根町マレットゴルフ場整備・・・きらり輝く協働のまちづくり事業補助金導入

(2) 地域懇談会の趣旨について

- ・ 市民の意見・質問・提言を地域づくり、行政に活かすために開催するもの。
- ・ 99自治会のうち、すでに14地区が開催。
- ・ 以前は行政のノウハウ（課題を解く手がかり）が行政内部に蓄積され、財政も豊かであり、市民の要望や課題を解決できていた。しかし現在は行政で経験したことの無い、新しい課題が出てきている。また地方分権が進む中で地方の財源が苦しくなっている。財政改革・税源委譲に伴う補助金の廃止・交付税の減額等、財政的に苦しい中、行政の説明責任を果たしながら、市民の意見を聞き優先順位を検討しながら事業を進めていく。財政の力でなく市民の知恵と意見で市政・地域づくりを進めていく。

(3) 市民参加と協働に関する市民懇談会について

10月3日、33人の委員を委嘱し第1回目の会議を開催。「市民参加」「協働」のあり方や具体的な推進方策等のマニュアルづくりのための検討会として開催。今後8～10回開催し、来年5月を目途に答申する予定となっている。市政のすべての分野の事業の「企画」「実施」「検証」を市民の皆さんにあっていただく方向で進めていく。

(4) 第4次総合計画について（ダイジェスト版により説明）

基本理念 将来像 目指すまちのテーマ「6本の柱」

（記録省略）

(5) 地域懇談会の意見・質問については、本日お答えしきれないものつ

いては持帰って後日自治会へ文書でお返事する。ご意見・ご提言はこれからの市政の中に取り入れて、成果や効果につなげていく。

4. 懇談会 【開始 14:00】 進行 不二塚町副自治会長

出席者

不二塚町の防火用水の整備について要望しているが、市において反対されているということについてお聞きしたい。

副自治会長

不二塚町1組～3組の水路は、もともと生活雑排水の処理のための水路であり、防火用水路として利用するためには水量が足りない。市からは、水路改修をして水量を確保するには、用地の問題や水利権等の諸問題があり難しいといわれている。水路の水量を確保できない場合は、初期消火対応のため消火栓の設置を市に要請している。

市長

この件について、自治会からの要望があげられていることは承知している。自治会の中でもよく話し合っていたいただきたい。持ち帰って地区で出来ること、行政でできることの判断をしてお答えしたい。

副自治会長

自治会役員も充分承知している。今後とも防火体制を強化していく予定である。

市長

住宅地において防火用水路の確保はなかなか難しい。初期消火の重要性からも、消火栓の設置か、あるいは防火水槽の設置が望ましいのか自治会内でよく相談していただきたい。市でも防災無線のデジタル化を進め防災体制の強化に努めている。

出席者

- (1) もみのき保育園廃園に伴う跡地利用計画について
- (2) 大町公民館分室の洋式トイレの表示について(市長への手紙の回答について)

市長

- (1) 現在市内には9園の保育園がある。市内の子ども数の減少から不効率になってきている。また人数縮小から教育効果が上がらない等の問題もでてきている。「保育所あり方検討委員会」において、老朽化しているもみのき・こぶし両保育園を統合して改築したほうが良いとの提言があった。社会福祉審議会においても同様の答申をいただいている。今後、具体的に検討し市議会に図って決定していきたい。現在、はなのき保育園の改築中であり、事業終了後、建設計画を策定していく。こぶし保育園の横に旧栄町住宅の跡地があり、その用地を利用する可能性が高い。もみのき保育園の跡地利用については今のところ白紙の状態である。地域の皆さんのご要望をお聞きしながら計画を進めていく。
- (2) 今後新設のトイレについては洋式トイレを増やしていく予定である。トイレ等の大きな表示はサービスの過剰であるという意見があり、押さえ気味にしていく方向にある。洋式のトイレはドアが半開きになっていて、洋式トイレだと判るような構造になっているものが多い。そうでないものは洋式のトイレと判り易く表示していく工夫を検討していく。

出席者

固定資産税の課税ミスについて

民間の場合、誤った見積もりをしても追加して代金を請求することは出来ない。誰にでも間違いはあるが、税金だから（誤った賦課による）返還・追徴は仕方ないことだという甘えが職員の意識にあるのではないだろうか。公金を扱う職にある者は更に慎重に、襟を正すべきである。その姿勢が見えてこない。

市長

課税ミスについては、市民の皆さんにご迷惑をおかけしお詫びする。課税ミスの原因は、電算処理の課税プログラムの修正の際の確認漏れによるものである。対象者へはお詫びとともに、再発防止について説明に伺っている。税については間違いがあってはならない。間違いの無いような仕組みを再検討していく。

出席者

中越沖地震の際の柏崎原発事故をうけて、市内の三つのダム危機管理についてお聞きしたい。

市長

「地震国日本」においては地震を予知し、被害を最小限に抑えることが最大

の課題であり、研究分野でシステムを構築しようとしている。気象庁による地震速報システムが10月1日に開始された。市のデジタル防災無線でも速報システムを取り入れられるようにしていく。地震でダムが倒壊したときを想定した危機管理マニュアルは現在作成されていない。大町ダム・高瀬ダムとも構造上壊れにくく、比較的安定した構造だといわれているが、どのような安全対策がとられているか、行政として再点検してみたい。今後も安全について関心を払っていくつもりである。

出席者

柏崎では新しい断層が見つかったという。そういうことも含めて安全性を検証して市民に説明していただきたい。

市長

地殻変動の中で、発見されていない活断層もあるといわれている。当市では東山山麓に活断層が走っていると聞いている。最新の学術研究にも関心を払っていく。

出席者

情報公開制度についてお聞きしたい。制度ができた以前の文書についても公開することは可能か。

市長

情報公開制度はすべての公文書を対象としている。ただし、公文書には保存年限が定められており、その年限内であれば文書が保存されており、原則として公開できる。

出席者

以前議会に地質調査結果の説明がされたことがある。その際の文書を公開していただきたい。

市長

市の業務として行った事業について、保存年限内であれば文書の公開が可能であるので、公開請求をしていただきたい。

出席者

道路は大型の重機で除雪しているため、歩道脇・玄関先まで雪を積み上げら

れてしまう。除雪するにも雪捨て場が無く、融雪溝の設置をお願いしたい。

市長

重機で除雪をすると、どうしても歩道脇・玄関先に雪が積み上げられてしまう。また歩道の除雪までは手がまわらない現状である。融雪溝は九日町にモデル設置してあるが、以前融雪溝の配備について提案をいただき研究した経過があるが、全市に配備するためには冬期の水量が少なく下流で詰まってしまう。また水が冷たく雪が融けにくく詰まってしまうということが予想され実現できなかったと聞いている。町川都市下水路を利用するには全面的に改修が必要であり、多額の経費がかかると予想される。今のところ良い案がないが今後も研究を進めてまいりたい。

玄関前や歩道の除雪については、出来るだけ協力し合ってお願したい。

出席者

防災無線のスピーカーが不二塚町にあるが東中原町の方へは聞こえづらい。何らかの方策を講じてほしい。

市長

防災無線については、スピーカーの向きの問題もあるが、アナログの電波は聞こえづらいものである。防災無線のデジタル化の際、場所・柱の多くはそのまま既存のものを活用する。到達距離はスピーカーの向きによっては短いところもあるがデジタルの電波できれいな音が流れるようになる。また住宅の構造で屋外の音が遮断される住宅が多くなったため、屋内スピーカーの設置も呼びかけていく予定である。防災無線のデジタル化工事に伴い、屋外スピーカーの取替え、公民館のような一時避難所への屋内スピーカーの設置は市費で導入していく。個人宅内スピーカーの設置は個人で負担していただく。機能によって差はあるが1台38,000円程度と見込まれ、そのうち1/2程度は市からの補助の導入を予定している。今後、補助制度の仕組みを検討していく予定であり、屋内スピーカーの購入も検討していただきたい。

出席者

高齢者世帯や一人暮らし世帯では、自治会役員を引受けられないという不安がある。今後そのようなケースが増えてくると予想される。自治会の体制や周りの若い人達の理解が必要となってくる。

市長

高齢社会、どこでも同様の悩みを抱えている。役員を当番制で回している場合、若い人を含めて周りの人たちの理解・助け合いが大切である。自治会未加入の問題についても、自治会は任意の団体であり加入を強制できないものであるが、自治会活動の大切さを訴え、自治会加入を呼びかけていきたい。

副自治会長

不二塚町も自治会役員の選出について、同様の課題を抱えており、本日の地域懇談会終了後臨時総会を開催することになっている。

本日の懇談会は安心安全をテーマに協働のまちづくりを考える良いチャンスとなった。災害時には近所の支えあいが最終的に命を救うといわれている。日頃からの声掛けにより自治会の絆が強まるのではないかと感じられた。

5. 閉会のあいさつ 不二塚町自治会長

【終了 15:00】

懇談会開会前、第4次総合計画ダイジェスト版等刊行物は、広報と同じ方向で綴じることの出来るようにとの意見があった。